

妊娠中の

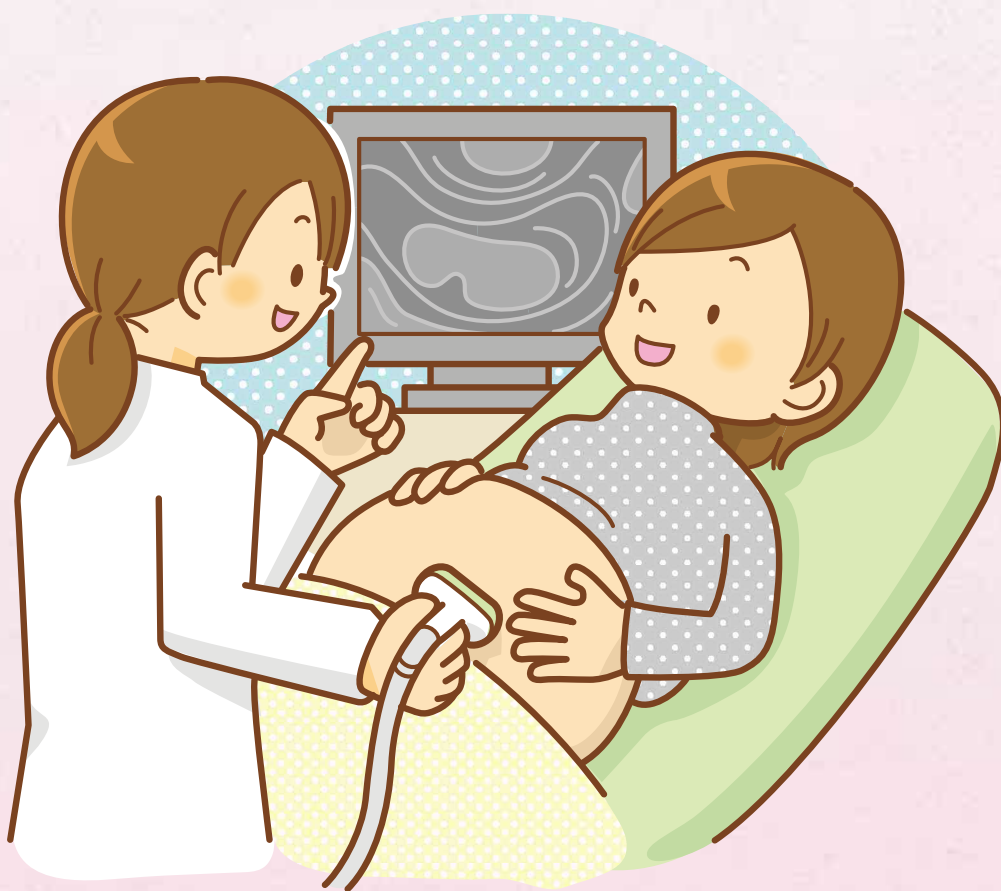
妊娠中のみなさんに知って欲しい

サイトメガロウイルス 母子感染に注意しましょう

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルスに感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくることがあります。

今のところ国が認めた治療薬、感染を防ぐためのワクチンがありません。

ですから、**お母さんが妊娠中に感染しないことがとても大切です。**



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
成育疾患克服等総合研究事業
「母子感染の実態調査把握及び検査・治療に関する研究」班

「サイトメガロウイルス」ってなに？

発生しやすい状況と症状

サイトメガロウイルスは、世界中のいたるところにいる、ありふれたウイルスです。母乳、唾液や尿や血液を介して主に子供のうちに感染します。その他、性行為を介して感染するなどし、日本では成人女性の70%程度がすでに感染し、抗体（免疫）を持っています。

感染したときの症状はほとんどないか、風邪症状にとどまることが多く、サイトメガロウイルス感染と気づくことはまずありません。健康な子供や大人が感染しても全く問題ないのですが、妊婦さんが初めて感染した場合や、免疫力がひどく低下した場合は、妊婦さんにほとんど症状がなくても、赤ちゃんにまで感染がおよぶことがあります。

感染した赤ちゃんには、流産・死産、脳や聴力障がいなどを生じることがありますが、症状も障がいの重さも様々です。特に重要なのは進行性の難聴です。一方で、感染した赤ちゃんに何も症状がでないこともあります。また、出生時に症状がなくても、成長するにつれて症状が出る場合もあります。

何らかの症状がでる先天性サイトメガロウイルス感染症を発病するのは、感染した赤ちゃんの10～30%程です。



サイトメガロウイルス粒子（電顕写真）

「妊娠中」は要注意！

妊娠中の感染に注意しなければならない理由

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルスに感染すると、胎盤や血液を通じて母親から胎児に感染してしまい、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる可能性があります。これをサイトメガロウイルス母子感染（または先天性感染）といいます。

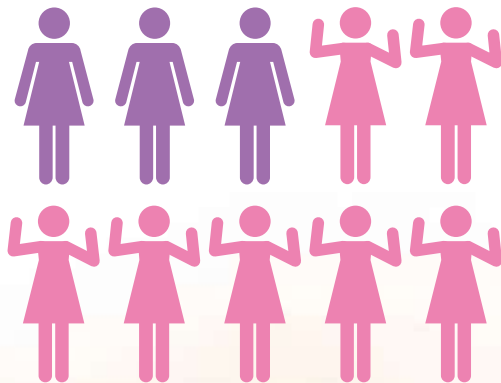
特にサイトメガロウイルスの先天性感染症に対して今のところ国の認めた治療薬、感染を防ぐためのワクチンがありません。ですから、**お母さんが妊娠中に感染しないことがとても大切です。**

成人女性の70% は既に、サイトメガロウイルスに感染したことがあり、血液の中に抗体（免疫）を持っていますが、30%は感染を防ぐための抗体を持っていません。抗体を持っている方でもサイトメガロウイルスに感染することがありますが、抗体を持っていない方は、サイトメガロウイルスの感染を受けやすいので、特に注意が必要です。

妊娠中の感染以外に、分娩時・授乳・輸血・感染者（特に子供）との接触によりサイトメガロウイルスに感染しますが、未熟児を除き、生後に感染した赤ちゃんやお子さんには、ほとんど症状は無く、健康問題は発生しません。

成人女性のサイトメガロウイルス抗体保有率

抗体なし：約30%



抗体あり：約70%



「妊娠中」感染しないために！

赤ちゃんを守るために特に気を付けたいこと

サイトメガロウイルスは、感染したお子さんの唾液や尿にでてきます。

実は、妊婦さんにおいてサイトメガロウイルスの主要な感染経路は、上のお子さんを含む周囲のお子さんです。でも、上のお子さんにとってもお母さんはかけがえのない存在です。これまで通り、愛情を持って接してあげて下さい。その時に下記の点に注意するだけで感染のリスクを1/5～1/10まで、減らすことができます。

- 1 頻繁に石けんと水道水で15～20秒間、手を洗いましょう。特に、おむつ交換、お子さんの食事、鼻水やよだれの処理、オモチャを触った後は念入りに手洗いしましょう。
- 2 お子さんの唾液やおしっこがついてしまったオモチャや家具等は、きれいに拭き取りましょう。サイトメガロウイルスは石けん、アルコール、漂白剤などに弱いので、手洗いや掃除の際は、水だけではなく、こうしたものが入った、薬局で売っている消毒薬を使うと効果的です。
- 3 よだれのついたお子さんの手やオモチャが口の中に入らないようにしましょう。
- 4 食べ物、飲み物はお子さんとは別にし、同じ箸やスプーンやフォークも使わないようにしましょう。
- 5 お子さんにキスをするときは頬や唇へのキスはやめましょう。そのかわりおでこにキスしたり、抱きしめてあげたりしましょう。
- 6 サイトメガロウイルスは乾燥に弱いので、敷物や布団類は天日で十分に乾燥させましょう。
- 7 保育所などお子さん方と接する機会の多い職場で働いている場合は、職場でも①～⑥の感染予防法を実践しましょう。



Q A サイトメガロウイルス Q&A

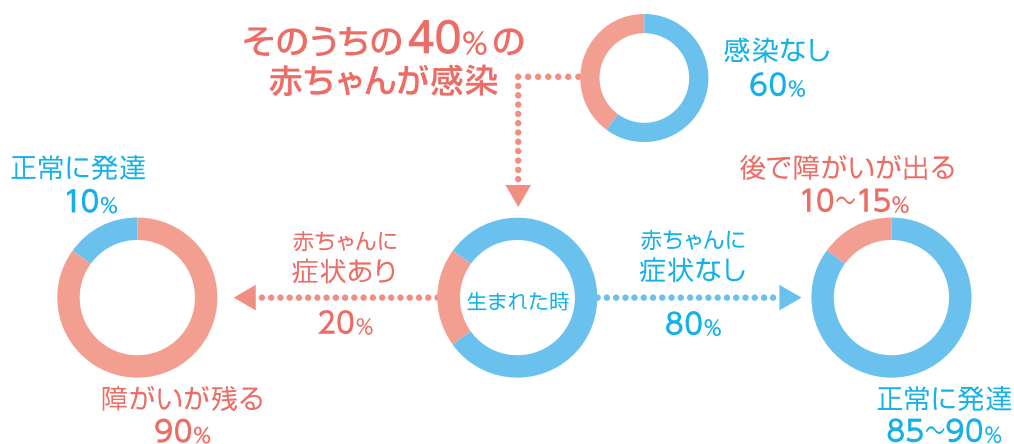
Q 妊娠中は、感染している人との接触を避けた方が良いでしょうか？

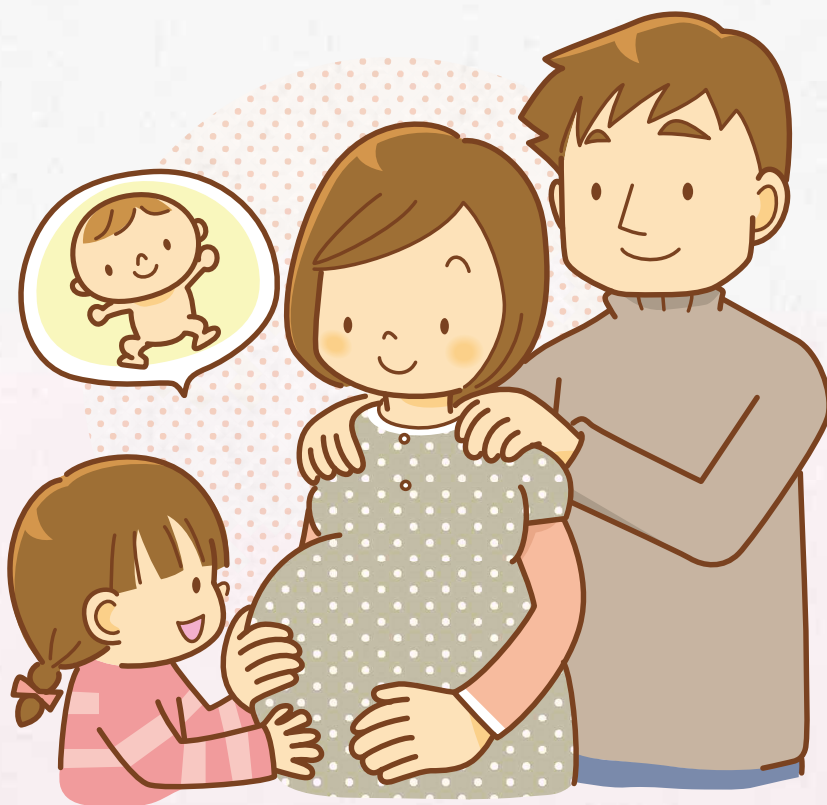
A サイトメガロウイルスは、世界中のいたるところにいるありふれたウイルスです。感染してもほとんど症状が出ないため気付かれないことが普通です。誰が感染しているかは、わかりません。インフルエンザのように飛沫感染（くしゃみや咳による「しぶき」によって起こる感染）することではなく、感染している人の唾液や尿に触れた手から感染します。これまで通り周りの人と接して問題ありません。予防には手洗いをきちんと行うことが重要です。

Q 妊娠中に感染すると全ての胎児に障がいが出るのですか？

A 過去にサイトメガロウイルスに感染していて、既に抗体（免疫）を持っている妊婦さんの場合は、赤ちゃんに感染がおよぶことはまれです。サイトメガロウイルスに対する抗体を持っていないお母さんが、妊娠時に初めて感染した場合、赤ちゃんにまで感染がおよぶ可能性があります。抗体を持たない方が、手洗いなどの感染予防法（p3参照）をしなかった場合、妊娠中に感染する確率は1～2%とされています。そのうち40%に先天性感染がおこります。先天性感染がおこっても多くの赤ちゃんは無症状で生まれてきます。お母さんが妊娠中に初めて感染しても、大多数の赤ちゃんには症状は見られないので、安易に中絶を考えないでください。

サイトメガロウイルスの先天性感染と赤ちゃんの障がいの危険率
抗体を持たないお母さんの場合 1～2%のお母さんが感染します





ウェブサイトでも情報を提供しています
<http://cmvtoxо.umin.jp/>

「母子感染の実態調査把握及び検査・治療に関する研究」班では、より多くの人にサイトメガロウイルス感染について知ってもらえるよう、上記ウェブサイトにてサイトメガロウイルス感染に関する情報提供を行っています。